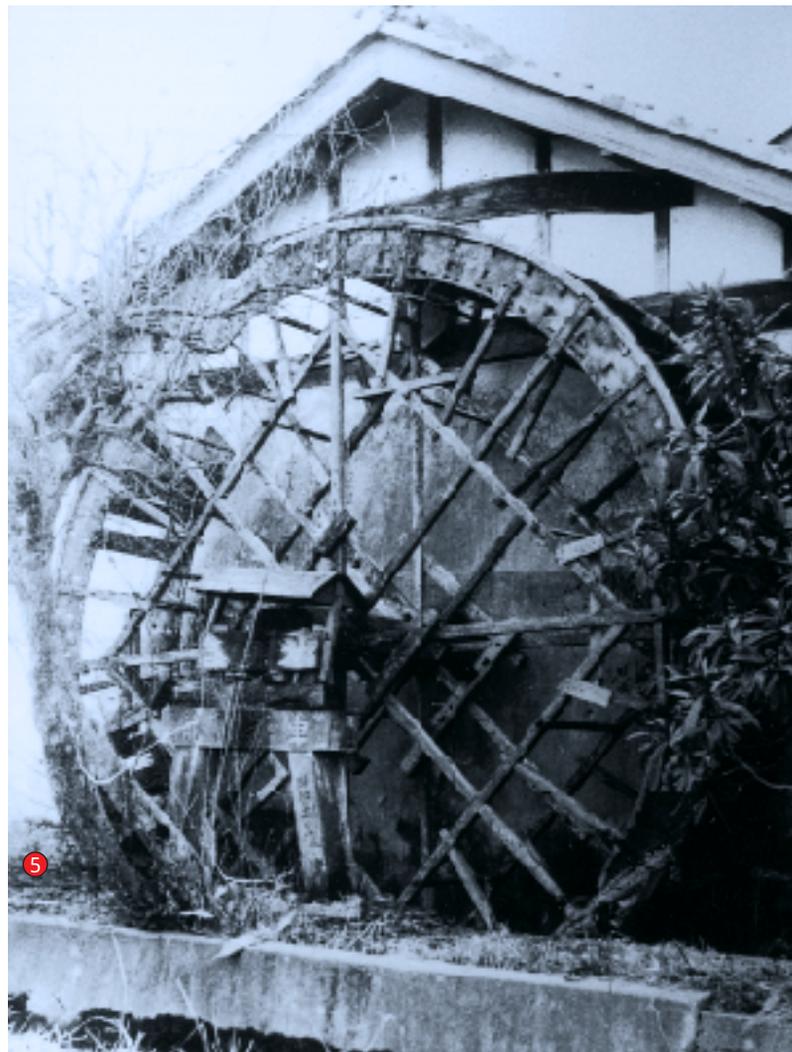


## 昔の写真をたどれば

写真がフランスで発明されて170年になります。それから急速に発達し、普及して、いまでは誰でも簡単に撮れるようになり、カラー写真も日常化しています。

映像として残しておく、さまざまな情報が保存されますが、少し昔は、写真機も高価で持っている人も少なく、大変貴重なものでした。また、保存されている写真も多くありません。その貴重な写真を町内のみなさんが提供してくださりましたので、それを通して昔を偲んでみましょう。



- ① 主に湖岸沿いの集落には縦横に水路がはしり、田舟が大きな役目をはたしていました(栗見出在家)。
- ② 水路は、田んぼへ続いていて農作業をするのも、収穫物を運搬するのもすべて田舟を使いました。
- ③ ゆるやかに水は流れ、ほとんどの家が生活水として、洗い物や風呂の水、場合によっては飲み水として使っていました(福堂)。
- ④ 親戚や近所の人たちと一緒に、お弁当やおやつを積み込んで田舟で出かけるのも楽しみのひとつでした。
- ⑤ 水の流れを利用して水車を回し、精米する米屋さんもありました(山路の河崎家)。



6



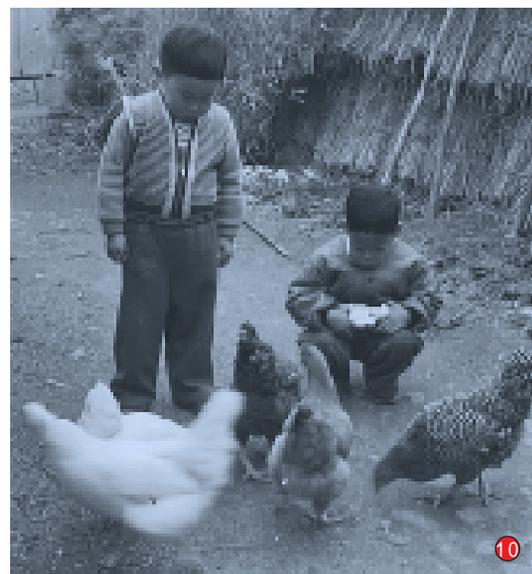
7



8



9



10



11

- ⑥「猫の手も借りたい」というほど忙しかったのが農家の秋の種入れの時期でした。農作業は機械化が遅れていたため、ほとんどが手作業でした。お年寄りも子どもも全員田んぼに出て働きました(昭和30年頃)。
- ⑦誘蛾灯。害虫駆除は大変でした(昭和14年頃)。
- ⑧子どもは学校が終わるとカバンを持って田んぼへ行き、手伝ったり親のそばで遊んだりしました(昭和22年頃)。
- ⑨春になるといっせいに苗代づくりがはじまり、農家は忙しくなります。
- ⑩ニワトリは、農家だけでなくこの家でも飼いました。タマゴは、大切なタンパク源だったからです(昭和35年頃)。
- ⑪農家は、家のそばに農小屋と広場(干し場)を持っていて、穀物や豆類を干しました(昭和13年10月7日)。



12



13



14



15



16



17

- 12 ボンネットバスも見られる能登川駅(昭和27年頃)
- 13 愛知川の洪水で、土砂をトロッコ列車で運搬しました。
- 14 町内で最初にできた能登川港郵便局
- 15 梵鐘供出
- 16 棟上げの日、たくさんの方が手伝っています。
- 17 新しい橋(陣屋橋)ができ、村中でお祝いしました(伊庭)